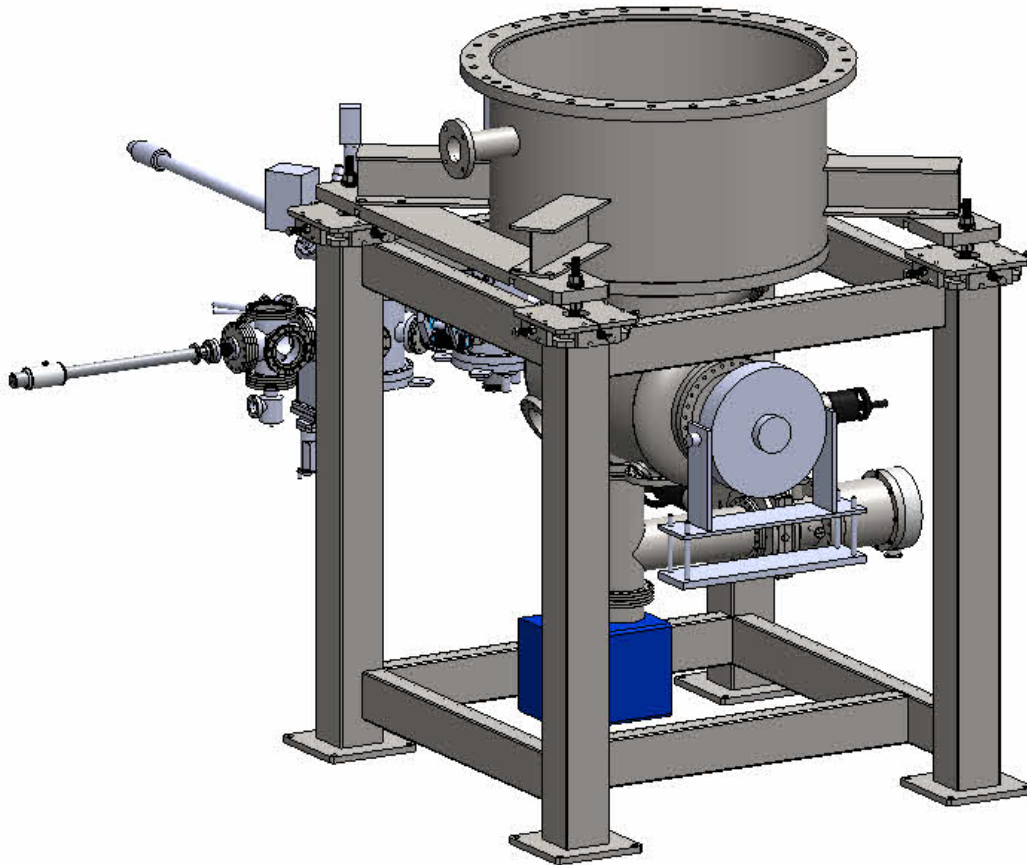


電子銃、移設に関する検討

高輝度電子源開発G会合 '11/12/14

移設後の架台



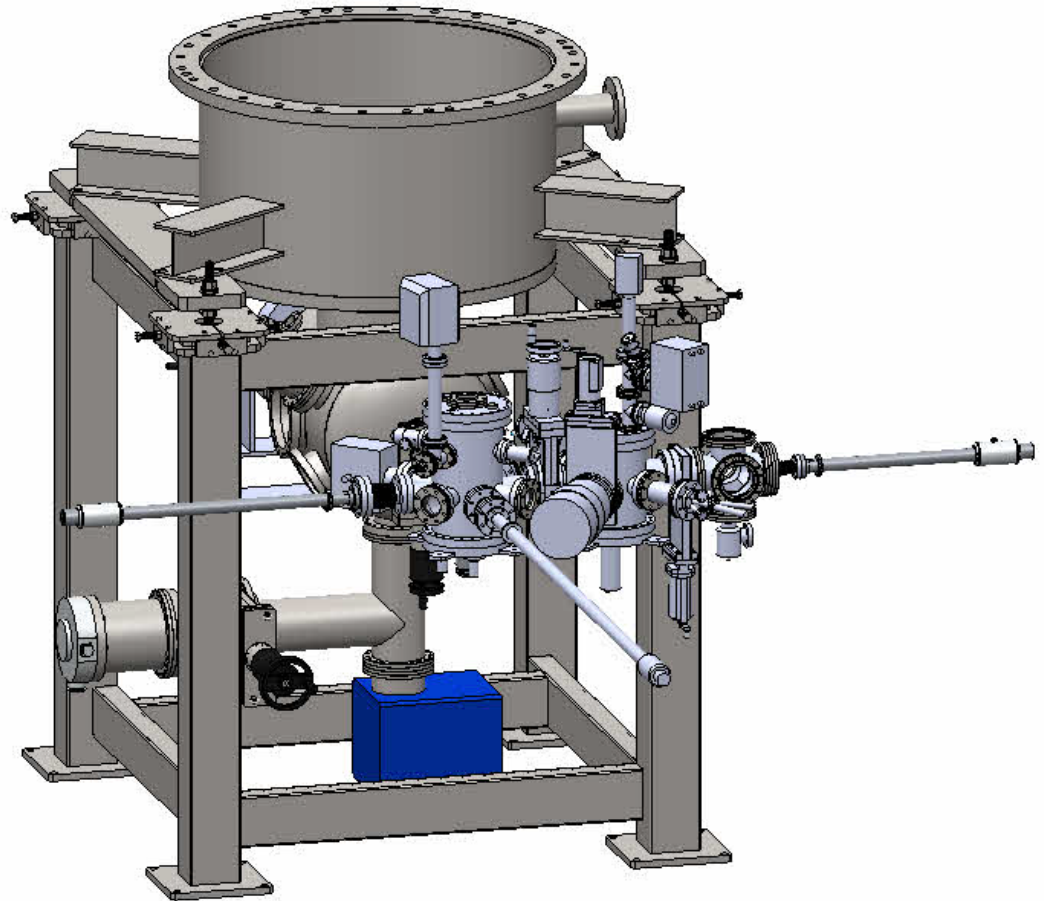
主要構造:SUS角パイプ
柱:150×150
梁:75×150

変更点:ソレノイドとの取りあい
位置調整機構

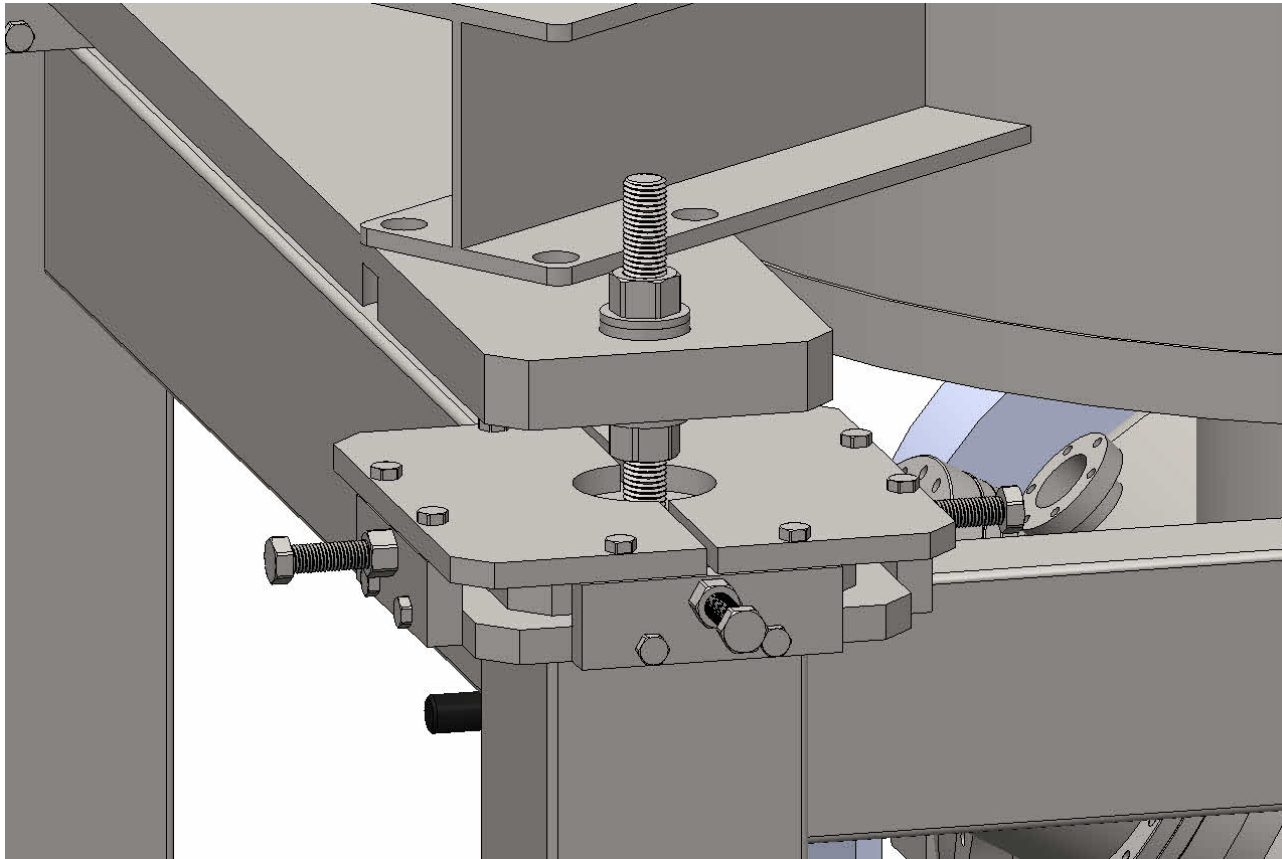
移設後の架台

TMPおよびGVとの干渉を避けるため
T字管を変更して取り付け位置を変更

Prep.Chamberなどの干渉はチェック済



位置合わせ機構



位置調整範囲
左右: $\pm 20\text{mm}$
上下: $+50\text{mm}/-20\text{mm}$

主柱はM24、
M16で前後左右に押す

架台の固定（転倒防止）

架台の幅1mで、架台のかどから3mの位置に
 $2t \times 1500\text{gal} = 30\text{kN}$ （震度7での最大加速度）

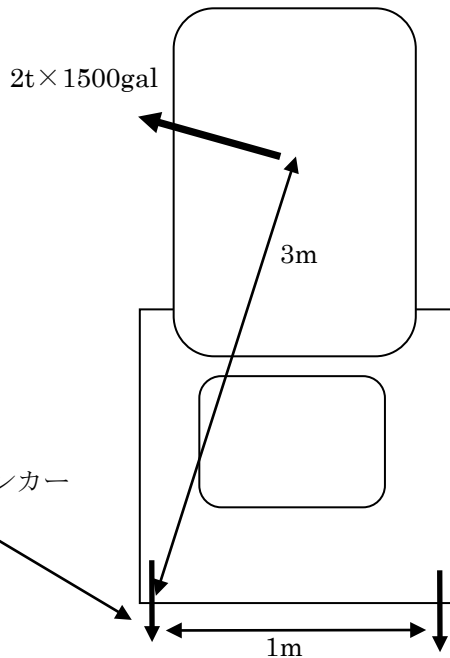
架台の反対側の端のボルトには90kN

8本のボルトで受けるとすると
1本当たりの許容荷重は約12kN

M10（許容荷重12kN）のボルトでOK

ボルトに加わる力が均一でなくなる可能性、安全率
約3倍の許容荷重をM16（許容荷重32kN）のボルトでは？

保険として、電子銃付近の天井のシールドブロックに
合いナット用のボルト（またはナット）を付けて
電子銃頂上付近とシャックルまたはチェーンで固定



検討中の項目

- シールドとの取りあい(芳賀さん)
- SF6との取りあい(山本さん)

- 作業手順と必要な物品のアイテムイズ
- クリーンブース
 - 大きなブース＋局所的にファン
- 高所作業足場
 - 頂上付近の作業(ケーブル、シャックル)
 - 2m付近の作業(タンクのボルト、セラミック管)